

子ども・子育て県民意識調査について（中間速報）

（調査の目的）

子育て満足度日本一の実現に向け、「おおいた子ども・子育て応援プラン（第3期計画）」に基づく各種施策の充実を図るため、プランの総合的な評価等の進捗状況の把握

（調査の概要）

1 調査期間	令和元年11月15日～11月30日		
2 調査対象者	就学前児童の保護者	県下18市町村2,020人を無作為抽出	
	小学生の保護者	県下18市町村 980人を無作為抽出	
	計	県下18市町村3,000人を無作為抽出	
3 回収率	就学前児童の保護者	39.8%	有効回答数 804人
	小学生の保護者	41.5%	有効回答数 407人
	計	40.4%	1,211人

（主な調査結果）

1 「おおいた子ども・子育て応援プラン」の総合的な評価項目

（1）子育てが地域の人に支えられていると十分に感じる、まあまあ感じると答えた人の割合

	H29年度	H30年度	R元年度
就学前児童の保護者	66.9%	69.0%	70.3%
小学生の保護者	75.0%	73.4%	73.7%
合計	69.3%	69.9%	71.5%

（2）住んでいる地域の子育ての環境や支援への満足度が高い、やや高い人の割合

	H29年度	H30年度	R元年度
就学前児童の保護者	41.1%	54.1%	54.3%
小学生の保護者	39.7%	49.4%	45.0%
合計	40.6%	52.6%	51.1%

2 その他の主な項目

（1）理想とする子どもの数、予定している子どもの数と現在の子どもの数

	H29年度	H30年度	R元年度
理想	2.74人	2.77人	2.88人
予定	2.43人	2.39人	2.75人
現在	2.23人	2.17人	2.20人

(理想よりも予定の子どもの数の方が少ない理由)

	H29年度	H30年度	R元年度
①子育てや教育にお金がかかりすぎるから	65.6% 《1位》	66.1% 《1位》	60.5% 《1位》
②自分の仕事(勤めや家業)が忙しいから	24.8% 《2位》	23.6% 《3位》	23.7% 《2位》
③これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	20.2% 《4位》	18.0% 《5位》	23.2% 《3位》
④高齢で生むのはいやだから	23.4% 《3位》	25.5% 《2位》	21.1% 《4位》
⑤欲しいけれどもできないから	18.3% 《5位》	20.2% 《4位》	20.6% 《5位》

(2) 子育て支援サービスの認知度(就学前児童の保護者)

	H29年度	H30年度	R元年度
①おおいた子育てほっとクーポン	89.0%	88.8%	91.7%
②一時預かり	88.5%	88.5%	88.4%
③病児保育	85.0%	87.2%	86.4%
④児童館	87.0%	85.9%	83.1%
⑤地域子育て支援拠点(こどもルーム)など	50.2%	51.5%	82.0%
⑥大分県子ども救急電話相談	—	79.9%	81.2%
⑦いつでも子育てほっとライン	71.6%	70.5%	70.8%
⑧ショートステイ	25.2%	23.9%	23.0%
⑨ホームスタート	—	—	17.8%
⑩トワイライトステイ	13.1%	10.6%	12.1%

(3) 子どもと将来の夢や希望について語り合う機会を、意識して頻繁にもっている、時々持っていると答えた人の割合(小学生の保護者)(R元年度新規調査)

	回答割合
頻繁に持っている	11.5%
時々持っている	66.3%
ほとんど持っていない	16.5%
持っていない	3.2%
無回答	2.5%